

獨協医科大学越谷病院だより

Dokkyo Medical University Koshigaya Hospital



平成19年(2007年)

4月



第8号

◆ 主な内容 ◆

越谷病院長就任のご挨拶 (筑田 眞)	2
敷地内全面禁煙のお知らせ	3
4月1日から「助教授」が「准教授」に名称が変わります	3
駐車場の利用について	3
病院への手紙 (回答)	4~5
埼玉DMAT 災害訓練参加状況	6

越谷病院長就任のご挨拶



病院長 筑田 眞

常日頃、当院をお選びいただきまして誠にありがとうございます。この度4月1日付けで長尾光修前病院長の後任として、病院長に就任いたしました筑田と申します。今後とも皆さまに最良の医療を提供すべく一層努力してまいりますので、何とぞよろしくお願いいたします。

私は、昭和59年6月の開院時より眼科に勤務しており、もうすぐ22年が過ぎようとしています。その間、診療科の増設、医療設備の拡充などが行われてきました。お陰さまで、地域から信頼される大学病院として発展を遂げることができました。しかし、受診患者数の増加に伴い院内が手狭となり、皆さまには大変なご迷惑をかけることにもなりました。今後は、院内施設の一部を東武鉄道高架下に移転した跡地を有効利用して、院内のIT化、医療の効率化、医療の質の向上や医療の安全性の追求を順次促進しながら、院内環境を改善していきます。また、各種先端の設備・検査・診療機器の拡充なども引き続き行いながら、高度先進医療の充実を図っていきます。さらに、医師、看護師はじめ医療従事者の技術研修も積極的に行って高度医療の提供に努めていきます。そして、当院の役割である急性期病院としての機能が存分に発揮できるためには、地域の病院ならびに診療所との連携は不可欠ですので、さらなる医療連携の強化を推進していきます。このことは、延いては最良の医療の提供につながると思います。さらに、アメニティ面をも考慮したすばらしい病院に生まれ変われるように院内整備を行って、一層地域にとけ込んだ病院として皆さまから愛されるように努力いたします。今後とも、患者さまを中心とした、愛のある医療の実践に向けて、教職員が一丸となって努力していききたいと思います。

新たに、昨年10月から臨床検査部に感染症が専門の春木宏介教授が就任し、感染症対策にも万全の体制を作り上げることができるようになりました。また、本年3月から整形外科に大関 覚教授、4月から泌尿器科に岡田 弘教授が就任いたしました。それぞれ、気鋭の優秀な人材で、必ずや皆さまのご期待に応えることができるものと思います。

私は、当院の理念である「常に研鑽し患者さまの信頼にこたえる」を常に認識した医療の提供をめざして、地域基幹病院としての任務を遂行することによって、皆さまから愛される病院であり続けることができるように、教職員一同とともに微力ではありますが、全力を尽くしたいと思いますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

●当院は6月1日から敷地内全面禁煙となります●

当院は健康増進法の施行に伴い、平成15年4月1日から現在まで屋内禁煙を実施してきたところでありますが、以前にも増して喫煙に対する様々な規制運動が展開されている昨今の社会情勢を踏まえ、当院では喫煙による健康被害や受動喫煙被害への更なる取り組みを行うことを目的とし、本年6月1日（金）より敷地内全面禁煙とすることになりました。

これに伴い、現在外来棟裏中庭・東棟1階中庭に設置の喫煙所（灰皿）については5月31日（木）をもって撤去いたします。

患者様及びお見舞い等で来院される皆様におかれましては、当院が地域医療の中核を担い、患者様の健康増進を使命とする医療機関であることご理解いただき、敷地内全面禁煙にご協力をお願いいたします。



- ◎ 敷地内とは、病院内、玄関、駐輪所、通路等を含めた当院の構内全てを示す。今回の措置は、当院受診される患者及びそのご家族、お見舞いの方々、学外者、教職員を問わず全ての方を対象とします。

4月1日から助教授は「准教授」に名称が変更になりました。

本年4月1日からの改正学校教育法の施行に伴い、教授に次ぐ大学病院（大学教員）のポストである助教授の呼び名が「准教授」に変わることとなり、これに併せ当院における各診療科の助教授についても、4月1日から「准教授」という名称に変更されました。

改正学校教育法によれば、これまで教授に従属する地位にあった助教授や助手といった職階を独立したものを位置づけ若手の教育・研究・診療活動を活発化することを目的としたものであるとされております。

◆◆◆ 駐車場の利用について ◆◆◆

1. 当院高架下駐車場をご利用の方は下記の場所で駐車カード（磁気カード）の割引入力を行いますので、お申し出下さい。
 - (1) 患者様 ……………各診療科窓口
 - (2) お見舞いの方 ………守衛室
2. 駐車料金
 - (1) 患者様 …………… 4時間まで200円
以後30分毎に100円
 - (2) お見舞いの方 ……… 1時間まで250円
以後30分毎に100円
3. 駐車券は紛失しないようにして下さい。
4. 万一駐車券を紛失した場合は、一般料金をお支払いいただきます。
5. 駐車場内では徐行で安全運転をお願いします。
6. 駐車の際は、必ずサイドブレーキ・鍵を掛けてください。
7. 駐車場内における事故・盗難・火災等について当院では一切の責任を負いません。



病院への手紙にお答えいたします

～当院の各部署に設置してあります、ご意見箱に寄せられる
患者さまのご意見・ご要望等「病院への手紙」に対する回答～

* 初診（新患）受付の対応について

〈71歳男性〉

先日、初診で外来受診に来た際、受付の職員から紹介状がないと受診できないようなことを言われました。今時このような病院が存在するのか？と驚きであったが実際のところはどうなのですか？

お答えいたします

当院では初診の患者様の受付時に、他院からの紹介状がない場合には特定療養費（1,838円）を請求しております。初診の患者さまにはその際の説明においてご理解られるよう対応しておりますが、今回の件については誤解が生じたことと思われます。今回のご指摘を周知し、適切な説明を行うよう再度指導したいと思います。

* 教授回診時における医師の態度について

〈入院患者家族 女性〉

入院患者の家族の者ですが、教授回診の時に気になることがあります。

教授と一緒にいる数名の医師のことです。教授が診察しているたった数分の間じっと立っていられず、ふざけて話をしている医師…ナースステーションのカウンターに両肘を置き、足を組んでいる医師…患者一人につきたった数分間の回診なのに、この光景を何度か目にし、これが医師なのかと正直がっかりしました。

患者の病気を治療し、ケアする方たちの態度とは思えません。病気と闘っている者にとってはやるせない気持ちになります。是非態度を改め真剣に勉強し、皆から慕われるような医師になってほしいと思います。

お答えいたします

回診時に、ご家族の方に不信感を与えるような医師の態度がみられたことに対して、まずお詫び申し上げます。しかし6時間に亘ります回診の一場面の状況であることも事実であります。私は患者様を診察する教授回診の前に、午後1時から3時までの間、すべての入院患者さまの病態について各主治医とデータや胸部写真をみながら検討会を実施しております。この間に多くの医師が知識を吸収していると認識しており、患者様の状況を十分に主治医と確認した上で回診しておりますことをご理解いただければと思います。

回診時における医師同士の会話も常に病棟に来られない講師と治療内容についての相談が主体と考えます。

しかしながら、ご家族に不信感を抱かれるような態度があったことは事実であります。今後は医師として恥ずかしくない言動・態度をとるよう十分に注意いたします。最後に私たちは患者様の一日も早い回復を願って毎日診療・勉強しておりますことを申し添えます。ご指摘ありがとうございました。

診療科教授

* 自動血圧器の設置…ありがとう

〈66歳女性〉

以前、この「病院への手紙」で自動血圧測定器を院内に設置してくださいと投書したのですが、今回久しぶりに来院したところ血圧器が設置されていました。初めは設置されていることに気がつきませんでした。受診後売店に行こうとした際に血圧計があることに気がつきました。その際には数人の方が血圧を測っており、やはり私以外にも血圧器の設置を望んでいた人がいたのだなと…きっと多くの患者さんたちが喜んでいてと思います。ありがとうございました。

お答えいたします

患者さまから寄せられる「病院への手紙」につきましては、週1回必ず回収し、病院長をはじめとする当院幹部役職者が目を通した上で、該当部署に回答及び今後の対応などを報告させています。

その中で改善できるものは早急に改善し、反省すべきご指摘は謙虚に反省し、検討を要するものは少しでも患者さまのご要望にお応えできるよう日々努力しております。

今回の自動血圧器についても、皆様からのご意見をもとに設置させていただいたものであり、多くの患者さまやその家族の方々にご利用いただき嬉しく思っております。

今後も、皆様からのご意見を当院の貴重な財産として真摯に受け止め、より良い病院づくりの一助にしたいと考えております。ありがとうございました。

* 大変お世話になりました

〈59歳男性〉

2週間の短期入院生活でしたが、得るものが多く、とてもよい経験をさせていただきました。

看護師のみなさんと医師の献身的な仕事ぶり。いつも笑顔で優しい対応していただき、とても居心地の良い入院生活でした。

仕事とはいえ、毎日いい笑顔を絶やさず持続するのは難しいことです。この体験を自分の職場に活かしたいと思います。

皆様のご健康とご多幸をお祈りします。ありがとうございました。

ありがとうございます

当院におけるすべての患者さまに、このような評価をいただけるよう、職員一同引き続き、より一層努力していきたくと思います。

* 病院へのご意見は各フロアーに設置してある「病院への手紙」にお寄せください。

越谷病院 DMAT隊員 災害訓練参加状況

「DMAT (Disaster Medical Assistance Team)」とは、災害急性期 (2、3時間から48時間まで) に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム (医師と看護師、業務調整員の4~5人で編成) で、災害が発生した場合、知事の要請に基づき、死傷者が出ると見られる被災現場に出動し、災害現場での医療情報の収集と伝達、トリアージ、応急治療、搬送、SCU (広域医療搬送拠点基地) での医療支援等の活動を行います。当院DMATは隊員として5名が登録されており、埼玉県と協定を結んでおります。埼玉県では、実際に大規模な災害が発生した場合を想定し、様々な訓練を行っており、当院が参加した主な災害訓練についてご報告いたします。

- ① 第27回八都県市合同防災訓練 (埼玉県主催)
日時：平成18年9月1日 (金)
場所：八潮市立大原中学校 (埼玉県八潮市)
内容：東京湾北部を震源域とする首都圏に大きな被害を及ぼす都市直下型大地震の発生を想定し、瓦礫救出訓練等の実践訓練を行った
- ② 埼玉県特別機動援助隊訓練教育 (A・C) (埼玉県主催)
日時：A平成18年12月19日 (火)
C平成18年12月21日 (木)
場所：Aさいたま市消防局
C埼玉県防災航空センター (埼玉県比企郡川島町)
内容：A消防からの講義と資器材及び装備の紹介
C航空消防からの資器材及び装備の紹介、さらにヘリによる実機訓練
- ③ 埼玉SMART (埼玉特別機動援助隊) 合同訓練 (埼玉県主催)
日時：平成19年1月31日 (水)
場所：西武球場前駅周辺 (埼玉県所沢市)
目的：埼玉県南西部付近を震源域とする都市直下型地震の発生を想定し、鉄道災害救出救護訓練を行った



当院では、今後も大規模災害が発生した場合の災害医療活動が、迅速かつ円滑に実践できるよう、埼玉県、消防機関、そして、埼玉DMAT登録機関 (川口市立医療センター・埼玉医科大学総合医療センター・さいたま赤十字病院・深谷赤十字病院・当院) との連携を深め、様々な災害を想定した訓練に参加していきたいと思っております。

また、大規模災害が発生した際、当院のDMAT隊が迅速に現場に急行し、効率的な災害医療活動を行うための専用車両として、「埼玉DMAT整備事業費補助金」により、トヨタ「アルファード」を購入しました。

